

**JICA 横浜 海外移住資料館**

# 館報

平成 21 年度





## はじめに

JICA横浜 海外移住資料館は、「われら新世界に参加す」を基本テーマとして、「新世界」の社会・文明造りに貢献した日本人の海外移住者の歴史と生活・体験を展示し、日本人の海外移住とそこに発展した日系社会の歴史を未来に継承するための諸活動を行っています。

また、日本人のみならず、日系人にとっては、自らのルーツである日本人の海外移住の歴史に関する知識と理解を深める場として、それぞれが相互理解と交流を深める役割を果たしております。

平成21年度におきましては、海外移住資料館の学術研究プロジェクトの成果を「海を渡った花嫁物語」と題して、約2ヶ月間に渡り企画展示いたしました。その間、皇后陛下の御行啓を賜り、日本人移住者の歴史を多くの方が知る機会を設けることの重要性についてお言葉を頂きました。

また、ブラジル アマゾン地域への入植が平成21年で80周年となることを記念して、「アマゾンに渡った日本人の軌跡」と題して特別展示を行いました。マラリアなどが脅威をふるう過酷な環境と戦いながら、ジュート（黄麻）と胡椒の二大産業を新たに根付かせ、地域の開発に大きく貢献した日本人移住者の軌跡を収蔵資料、写真、映像で紹介しました。

当資料館は今後とも、我国の近代史の一部である海外移住の歴史に関する所蔵の標本・資料の整理・保存、新たな資料類の収集、公開、並びに多文化共生について学習する教育プログラムの充実などに総合的に取り組んで参ります。引き続き、関連機関や研究者の皆様の温かいご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月

独立行政法人 国際協力機構  
横浜国際センター 所長  
海外移住資料館 館長  
吉 浦 伸 二



## 目 次

---

1. 展示イベント等 .....	1
2. 情報システム .....	8
3. 資料等情報整備 .....	10
4. 教育普及活動 .....	11
5. 広報活動 .....	18
6. 運営委員会及び学術委員会 .....	21
7. アンケート調査 .....	24
8. 各種実績 .....	25



# 1. 展示イベント等

## 企画展示「海を渡った花嫁物語」

期間：10月16日（金）～12月20日（日）

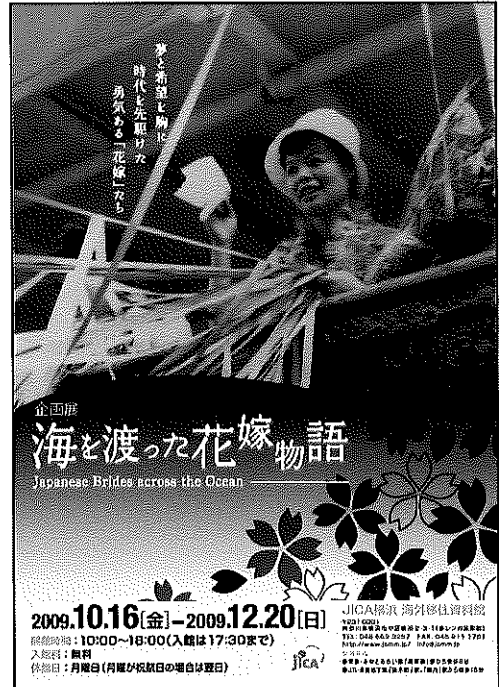
主催：JICA 横浜 海外移住資料館

協力：JICA 横浜 海外移住資料館 学術委員会  
全米日系人博物館

付帯イベント：

- ・10月16日  
ギャラリートーク（島田法子学術委員）
- ・10月17日  
シンポジウム「海を渡った花嫁たち～日本  
女性移民史の発掘～」 参加者数：35名

開催期間中入館者数：5,720人



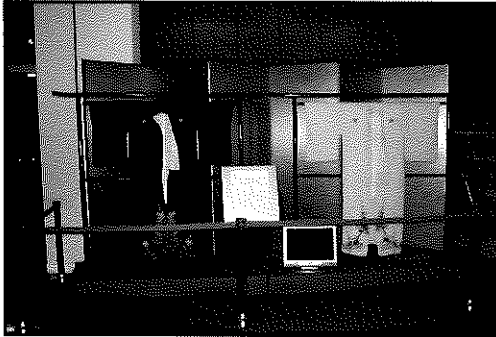
### 概要：

本企画展は、海外移住資料館学術研究プロジェクト「海を渡った花嫁たち」の研究成果に基づくものである。海外移住した女性たちに関する資料を集め、女性移民の歴史を掘り起こすことを目的とし、歴史に埋もれがちな女性移民の声を聞き、その人生をたどり、海外の日系社会や移住先国での活動や貢献を紹介した。

展示は、①戦前に写真によるお見合いによってアメリカに移住した「写真花嫁」、②戦後に写真と文通によりブラジルに移住した「花嫁移民」、③戦後に米軍兵士・軍属と結婚してアメリカ本土に移住した「戦争花嫁」、そして④米軍兵士・軍属の妻としてハワイに移住した「軍人花嫁」の4セッションで構成された。

この企画展示は日本人女性の「写真花嫁」そして「戦争花嫁」と呼ばれた花嫁移民を取り上げているが、彼女たちを決して過去の、特別な存在として捉えるのではなく、広い女性史の視野からこの女性たちがたどった人生を捉え、現在の各地の花嫁移住者たちへの理解を得たいとの願いを込めて企画した。

2009年12月4日、皇后陛下の御行啓を賜り、吉浦伸二館長の案内で、飯野正子学術委員長（津田塾大学学長）、本企画展示のプロジェクトリーダー、島田法子学術委員（日本女子大学教授）の説明に熱心に耳を傾けられた。ブラジルの花嫁移住のコーナーでは、花嫁移民の母として慕われた小南ミヨ子さんに関して、またアメリカ本土への戦争花嫁コーナーでは、「戦争花嫁」と呼ばれた人々の人生が正しく記録され、日本人移住者の歴史を多くの人が知る機会が設けられたことの重要性について、お言葉をいただいた。



移住花嫁が実際に身にまとった花嫁衣装



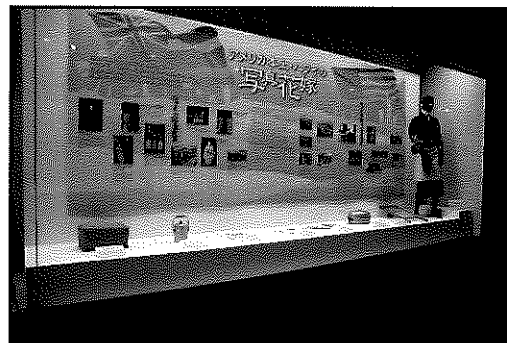
島田学術委員によるギャラリートーク



皇后陛下御行啓のご様子



観覧の様子



展示の様子「アメリカ本土・ハワイの写真花嫁」



**特別展示1 「徳光ゆかり写真展 “BON（盆）”**

期間：4月3日（金）～4月19日（日）

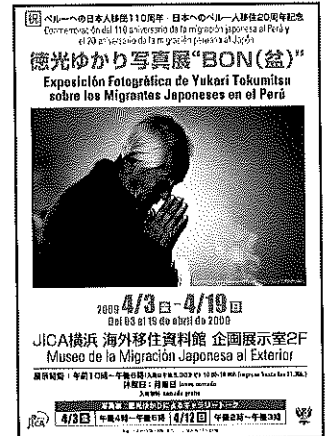
主催：ペルー共和国大使館

開催期間中入館者数：2,402人

概要：ペルー日本人移住110周年を記念して、写真家・徳光ゆかりが撮影した、ペルーに渡った日本人移住者の姿、子孫に残した日本文化や、ペルー社会に溶け込んだ日本的なものを捉えた写真展を開催した。



徳光ゆかり氏によるギャラリートーク



**特別展示2 「横浜開港 150 周年記念 ヨコハマ発海外移住」**

期間：4月28日（火）～6月21日（日）

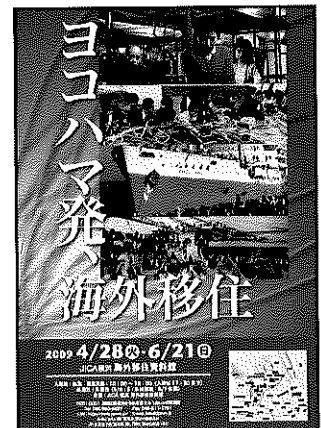
主催：JICA 横浜 海外移住資料館

開催期間中入館者数：9,042名

概要：横浜開港150周年にあわせた企画として開催。港横浜と移住者との関わりについて、戦後移住を主に取り上げ、「移住あっせん所」での暮らしや、移民船出航風景、移民船内の生活などを写真と映像で紹介した。付帯イベントとして、ブラジルに移住する家族の渡航までを描いた吉永小百合主演映画「さようならの季節」を上映した。



展示の様子



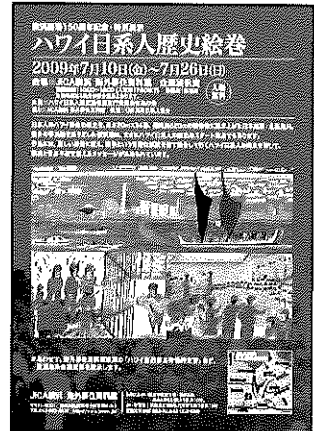
### 特別展示3 「ハワイ日系人歴史絵巻」

期間：7月10日（金）～7月26日（日）

主催：ハワイ日系人歴史絵巻展示実行委員会有志の会

開催期間中入館者数：2,657名

概要：日本人のハワイ移住の歴史を長さ約20mの34巻、総延長620mの日本画絵巻物にした日本画家北條楽只氏の作品展示を通じてハワイ移民がたどった歴史を紹介。当資料館収蔵品の大概コレクション（官約移民労働約定書、パスポート、写真）、442部隊軍服、記章等の資料もあわせて展示した。北條氏作品のうち、4巻を実物展示し、関係資料を移動展示ケースに配置。作品の未公開部分は、パネル展示およびスクリーンへのスライド上映にて紹介した。



### 特別展示4 「アマゾン日本人移住 80周年記念 アマゾンに渡った日本人の軌跡」

期間：8月11日（火）～10月4日（日）

主催：JICA 横浜 海外移住資料館

付帯イベント：

- ・8月27日～30日 FUNE プロジェクト 参加者数：141名
- ・8月27日～10月4日 アマゾン熱帯果樹飲料の試飲・販売
- ・10月3日 山根一真氏特別講演会「アマゾンに生きる日系人～熱帯雨林とアグロフォレストリー～」  
参加者数：71名

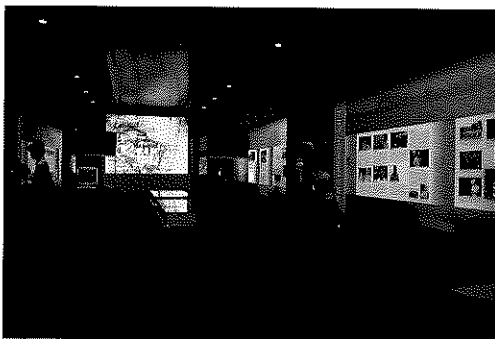
開催期間中入館者数：8,955名



概要：サンパウロ州のコーヒー農園労働者として始まった日本人移民とは別のルーツを持つ日本人移民の存在を、歴史的経緯から明らかにし、日本人がアマゾンにもたらした2大産業であるジュート（黄麻）とピメンタ（コショウ）をとりあげたほか、初期移住者の証言映像コーナーを設置した。

展示の中核として、戦後移住の再開から海外移住事業団～JICA が関わった移住事業、直営移住地の様子を収蔵資料・写真・映像で紹介。移住者の各界への進出、日本企業の進出など、現在につながる日本人・日系人の活躍を追った。また、自然環境保全を踏まえた持続可能な農法のモデルケースとして世界にメッセージを発信する「アグロフォレストリー」の姿を紹介。

当資料館収蔵資料だけでなく、渋沢史料館の協力を得、関係資料の展示の充実を図るとともに、現地における80周年記念式典開催にあわせて展示内容の追加を実施した。



展示の様子

## 特別展示5 「移民の暮らし」－海外日系社会における「食す」「伝える」「楽しむ」「祝う」

期間：3月9日（火）～5月8日（土）

主催：JICA 横浜 海外移住資料館

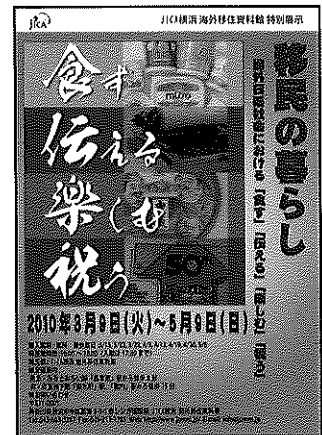
付帯イベント：

・4月11日、25日 ギャラリートーク（資料館業務室 小嶋）

開催期間中入館者数：1,628名

概要：

日本とは文化や習慣の異なる海外に移り住み、そこで暮らすことになった日本人移民の暮らしとは、一体どのようなものだったのか。海外の異なる環境の中で、食事や言葉、娯楽やコミュニティ活動等で直面した課題に、どのように対処してきたのだろうか。日本を離れても生活に欠くことのできないものは？ 現地でおかれた状況の中で適応してきたこととは？



今回の展示では、「日系コミュニティ」に対するこのような問いをテーマに、①食す、②伝える、③楽しむ、④祝う、の4つのキーワードを設定し、セクションを構成。未公開収蔵資料（特に標本類）を中心とした展示内容としている。特別展示開催にあたり教育プログラム専用のオリエンテーリングシート及びワークシート、そして展示概要を配布用として作成した。



展示の様子「食す」



展示の様子「伝える」

## イベント1 「ミュージアム・クイズラリー よこはま 2009」

期間：7月18日（土）～9月1日（火）

概要：毎年夏休み期間中に開催。海外移住資料館を含む周辺地域の16施設で開催された。横浜開港150年にちなんだクイズを出題。

参加者数：281人

## イベント2 「子どもアドベンチャー2009」

期間：8月19日（水）～8月20日（木）

概要：体験学習等の一つの機会として、市内在住・在学の児童生徒を対象に市役所をはじめとする様々な仕事を子どもたちが見学・体験することを目的に実施。当資料館では、「かるたで遊んでタイムスリップ！」を実施。かるたで遊び、展示場で撮った写真を葉書にしてプレゼントした。

参加者数：40人



かるた取りの様子

## 公開講座1 アマゾン開拓80周年記念シンポジウム「実業家と移住」

日時：11月28日（土）

主催：財団法人渋沢栄一記念財団、JICA 横浜 海外移住資料館

パネリスト：

柳田利夫（慶應義塾大学）/黒瀬郁二（鹿児島国際大学）

山本長次（佐賀大学）/栗田政彦（平生鈆三郎研究会）

討論者：谷ヶ城秀吉（立教大学）

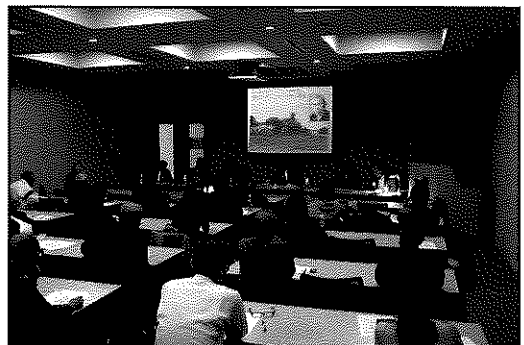
モデレーター&討論者：木村昌人（財団法人渋沢栄一記念財団）

受講者数：54名

概要：

アマゾンの地で開拓事業が開始された80年前、日本では、近代化・産業化が一段落し、急増する人口への対応と海外資源の獲得のための対策として、南米ブラジルでの海外移住事業が脚光を浴びていた。昨年はブラジル移民100周年を記念して、ブラジル移民についての様々なイベントが開催されたが、海外移民の生活を支える移住事業を企画経営した実業家にはあまり焦点があてられなかった。

本シンポジウムでは、岩崎久彌、渋沢栄一、武藤山治、平生鈆三郎という4人の実業家を取り上げ、彼らがブラジルでの移住事業に対してどのような夢や構想を抱き、それを企業活動としてどう具体化し、実現させたのかを紹介。またこれらの4事例を比較して、両国政府や移住者との関係、日伯経済関係に与えた影響などについても討論した。



公開講座「実業家と移住」の様子

## 公開講座 2 講演「日系ブラジル人の短歌と俳句」

実施日：12月12日（土）  
主催：JICA 横浜 海外移住資料館  
講師：細川周平（国際日本文化研究センター）  
受講者数：31名

### 概要：

ブラジル日本移民の文芸活動は最初の移民船笠戸丸(1908)から記録されている。1910年代に創刊された最初の日本語新聞には既に文芸欄が見られ、20年代には新聞雑誌で本格的に文芸作品が出版されるようになる。それ以来、膨大な数の作が愛好家によって著されている。とりわけ短詩は裾野が広い。うまいとはいえないかもしれないが、移民の心向き、生活、考え、意識をよく描き出している。細川先生の講演では、俳句についてはブラジル季語、短歌については母語の途絶について論じられ、海外の日本語文学を考える糸口を考察した。

The poster features the JICA logo at the top left and the text 'JICA 横浜海外移住資料館 公開講座' at the top right. The main title is '日系ブラジル人の俳句と短歌' in large, bold characters. Below the title, the date and time are listed: '2009年12月12日(土) 16:00～17:30' and '入場無料・予約不要'. A portrait of the speaker, '講師 細川周平氏', is shown on the left. To the right of the portrait is a block of text providing a detailed overview of the lecture's content, including the historical context of Japanese immigration to Brazil and the development of Japanese literary forms like haikai and short haiku. At the bottom right, there is a small map of Brazil.

## 公開講座 3 シンポジウム「人と人との絆が築く国際関係」

実施日：12月20日（日）  
主催：JICA 横浜 海外移住資料館  
司会：飯野正子（津田塾大学）  
パネリスト：

- ・ 桑井輝子（白百合女子大学）  
「戦時交換船救恤品からララ物資へつなぐ感謝の連鎖」
- ・ 水野剛也（東洋大学）  
「日本の戦後復興を支えた日系人ジャーナリズム  
シアトルの『北米報知』を中心に」
- ・ 増田直子（日本女子大学）  
「日系アメリカ人の再定住とMIS」
- ・ 長谷川寿美（東海大学）・ 小澤智子（武蔵野美術大学）  
「MISとして占領下の日本に駐在した二世」

受講者数：42名

The poster features the JICA logo at the top left and the text 'JICA 横浜海外移住資料館 公開講座' at the top right. The main title is '人と人との絆が築く国際関係' in large, bold characters. Below the title, the date and time are listed: '2009年12月20日(日) 14:00～16:00' and 'JICA 横浜 会議室1 入場無料・予約不要'. A photograph showing a group of people, likely immigrants, is featured in the upper middle section. Below the photo, there is a list of panelists with their names and affiliations. At the bottom, there is a small map of Japan and some additional text.

### 概要：

平成18～20年度の3年間にわたって実施された当資料館学術研究プロジェクト「二つの国の絆を結んで：『移民』の日本への貢献を探る」の研究報告を兼ねたシンポジウム。

## 2. 情報システム

### 1) 情報展示ネットワークプロジェクト（情報展示）コンテンツ拡充

- (1) 「アルゼンチン日本人移民史」サイトの一般公開  
在亜日系団体連合会（FANA）のサイトについて、  
4月14日に一般公開した。

概要：アルゼンチンに日本人定着移民が入植してから2006年で120年目を迎えた。世代交代が進む中、先駆者の語り、体験談、資料などが失われていく現在、日系の歴史を若い世代の人たちが読み継ぎ、アイデンティティを喪失しないようにするため、総合的な移民史刊行が急務であった。在亜日系団体連合会は、この移民の実像を語り継いでいくために移民史編纂を開始し、2006年9月に約6年間の歳月を経て、「アルゼンチン日本人移民史戦前・戦後編（それぞれ日本語版・スペイン語版）」計4巻が完成した。本サイトは、同移民史の内容をもとにwebコンテンツとして公開している。

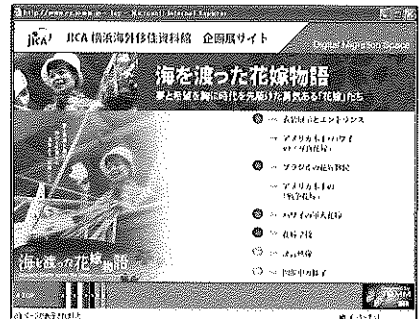
URL: <http://dms-fana.eg.jomm.jp/>



- (2) 企画展示「海を渡った花嫁物語」サイトの一般公開

概要：このサイトは、2009年10月16日から12月20日まで当資料館にて開催された企画展『海を渡った花嫁物語 夢と希望を胸に時代を先駆けた勇気ある「花嫁」たち』の展示内容を記録するものである。展示品の紹介や証言映像以外にも、開催中の様子などを盛り込み、12月25日に一般公開した。

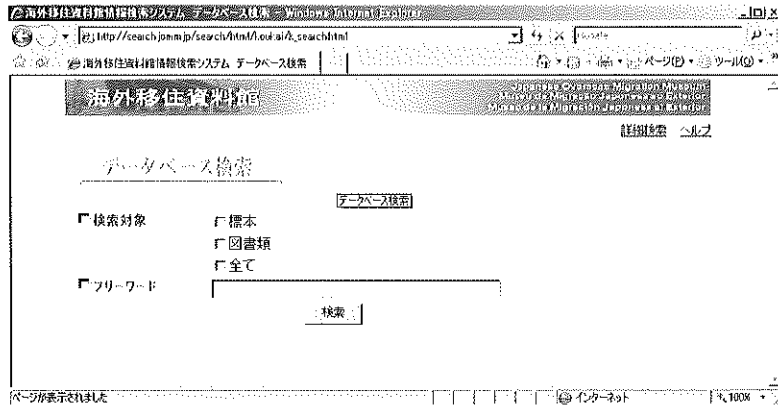
URL: <http://www.eg.jomm.jp/original/equipmentmanufacturerpreview/hanayometenjishitsu/top.html>



### 2) 情報検索システム

- (1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携し、当資料館の収蔵する資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。平成22年3月末時点登録数：39,001件（うち図書類：30,918件、標本類ほか：8,083件）。 <http://search.jomm.jp/>



## (2) シソーラスプロジェクト

情報検索システムでの検索効率向上を目的とし、海外移住に特化した類義語辞典の充実を図った。キーワードリストから類義語のグループを作成し、随時情報検索システムに投入した。平成 22 年 3 月末時点登録数：34,042 グループ (203,003 語句、一般的な読み替え語句含む)。

## 3) 海外移住資料館 web ページ新規コンテンツ (キッズコーナー) の公開

児童生徒向けコンテンツとして、キッズコーナーコンテンツ『モルフィーちゃんの移民学習コーナー～親子でまなべる海外移住の歴史～』を製作、7月28日に公開した。内容は以下のゲーム2種類、3件。なお、常設展示室デジタルミュージアムスペース (以下、「DMS」という。) コーナーに「キッズコーナー」ゲーム専用端末を設置し、展示場内でも利用出来るようにした。

### 【ゲーム①：移民の歴史クイズ】

1. 漢字問題：国名の漢字表記から国名を当てるゲーム
2. ビジュアル問題：画像から何に使われ方などを当てるゲーム

### 【ゲーム②：移民カルタ】

既存の移民カルタの内容をゲーム化したもの



### 3. 資料等情報整備

#### 1) 資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集を行った。資料受入は1,924件（うち、寄贈1,376件、購入32件、取得219件、他機関からの移管資料297件）。登録総件数は38,870件。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
寄贈	396	499	318	163	1,376
購入	9	17	6	0	32
取得	375	22	74	45	516
受入点数計	780	538	398	208	1,924

#### 2) 資料の整理

##### (1) 伊藤一男関連資料

本年度から実施される学術研究プロジェクトにおいて、「文献史料の拡充と学術的活用」を担当されている桑井学術委員と柳田学術委員が、5月から7月にかけて伊藤一男（読売新聞記者、『北米百年桜』著者。寄贈資料は北米日系人移住者関連資料）資料の状況視察を実施した。その後、柳田学術委員から整理作業手順に関する助言を受け、7月に予備整理作業手順（案）を作成後、8月から予備整理作業を開始した。平成22年度以降も引き続き、両委員の指導・助言のもと、整理作業を進めていく予定である

##### (2) 移住申込書整理作業

旧海外移住センター所蔵移住申込書について、柳田学術委員の指導の下、解体、データシート作成、挿入作業、データシート記入、スキャン等の整理作業を行った。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
ファイル解体	955	996	377	186	2,514
データシート作成	934	996	377	186	2,493
挿入作業	934	996	377	186	2,493
データシート記入	913	893	623	81	2,510
スキャン(件数)	1,420	1,677	1,149	962	5,208
スキャン(ファイル数)	5,409	13,612	9,977	13,090	42,088

##### (3) 情報検索システムへの資料データ移行

別形式DBデータの情報検索システムへの移行作業を実施した。これらは当資料館開館後収集資料のデータであり、図書231件、アーカイブ872件、標本348件、写真・映像2,792件のデータ移行を完了した。

##### (4) 図書資料等整理

登録済み図書資料を対象とした書誌情報の追加入力を行った(2,273件)。上記のうち、業務資料を対象として分類整理を行った(885件)。



## 4. 教育普及活動

### 1) 教育プログラムの概要

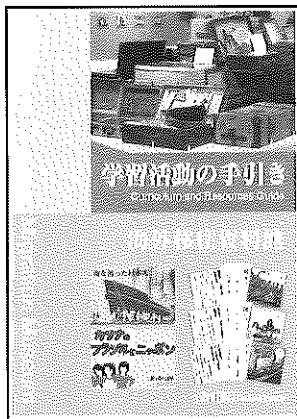
海外移住資料館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりが移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になってきている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、授業案を含む指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、さまざまな教材開発、ボランティアによる展示ガイドなど、多様な教育プログラムを実施している。

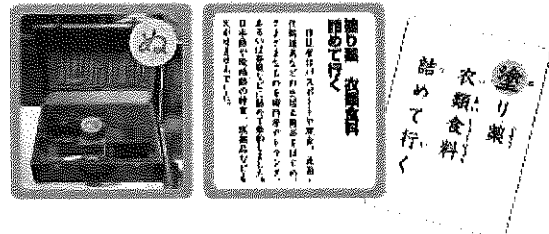
今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。このような21世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

### 【学習活動の手引き】

この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示および各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々の授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。



学習活動の手引き



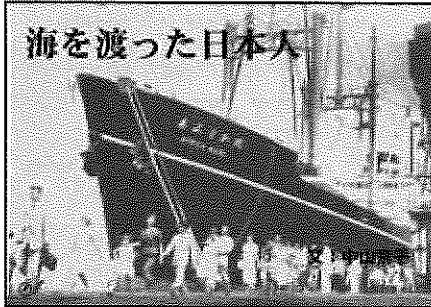
移民カルタ

### 【移民カルタ】

日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。

【紙芝居】

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全4種類。



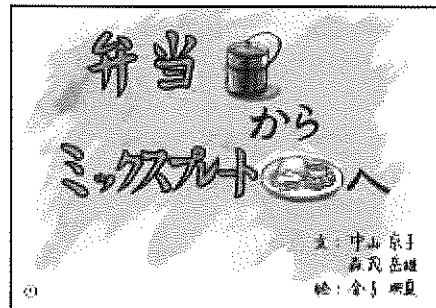
「海を渡った日本人」



「カリナのブラジルとニッポン」



「ハワイにわたった日系移民」



「弁当からミックスプレートへ」

【トランク教材】

移民に関する授業や事前学習をサポートする貸出教材。ハワイ移民の労働着をはじめとする「ハンズオン教材」や指導者向けの解説資料などを多数取り揃えている。HP上で希望の教材を選んでいただき、貸出を行う。詳細は、HP上に掲出。



真珠湾攻撃を伝える新聞



移住者の労働着

### 【映像教材】

実際にブラジルへ移住した人々のインタビューを編集したもの、日本人のアマゾン移住に関連するものなど、移住に関する映像教材。以下の5種がある。

- ・DVD『子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！』
- ・DVD『アマゾンに挑んだ草創の日本人』
- ・DVD, VHS『海外移住資料館 われら新世界に参加す』
- ・DVD『夢と希望を運んだ船 ～移動船での暮らし～』
- ・DVD『海外移住資料館』

### 【学習シート】

子どもたちを展示資料へ導き、作業を通して展示のねらいにあった見学を支援するための学習教材である。今年度はこれまで使用していたワークシートの改訂版とともに、館内8ヶ所の画像を用いたオリエンテーリングシートを作成した。これら学習シートの問いに答えながら見学することにより、海外移住の歴史や、日本人移住者の努力、貢献などを学ぶことができる。HP上に掲出。

### 【定点解説キット】

日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。

- ①サトウキビ畑の生活・仕事（麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等）
- ②ミックスプレート（写真パネル）
- ③スーツケース（写真カード入りの小箱、トランク等）
- ④移住物語（写真アルバム、複製のパスポート）
- ⑤花と製品あてゲーム（圧縮した綿、4つの缶からなる「香りの箱」等）
- ⑥農作業具（写真パネル）
- ⑦日系商店・萬屋（萬屋の品揃えアルバム、エプロン等）
- ⑧日系人の食卓（写真アルバム）
- ⑨イグアス（空撮写真、アルバム等）
- ⑩宝さがし（中高生向き写真カード、ゾーンマップ）



定点解説キット

### 【パワーポイント教材】

海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用していく。

## 2)教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイダンス（概要説明）、ワークシートを使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は97件、総受講者数は4,684名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。

### 【教育プログラム実績】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
件数	31	25	21	20	97
総受講者数	1,587	1,541	884	672	4,684

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

### 【教育プログラム受講 教育機関】

#### ①第1四半期：

群馬県立女子大学、神奈川県立大和西高等学校、富来町立富来中学校、神奈川県立相模原高等学校、東京外国語大学多文化コミュニケーション教育支援室、神奈川県立神奈川高等学校、日本大学国際環境学部、横浜市立高田小学校、東洋大学国際地域学部、横浜市立浦舟支援学校、清心女子高等学校、仙台市立高砂中学校、名取市立関上中学校、新潟市立秋保中学校、仙台市立第一中学校、横須賀市立武山中学校、横須賀市立北下浦中学校、多治見市立多治見中学校、こども科学探検隊、横須賀市立鴨居中学校、明治学院中学校、横浜市立大豆戸小学校、警察大学校、専修大学、東京都市大学、平塚市立太洋中学校、市原中央高等学校、横浜市立仲尾台中学校

#### ②第2四半期：

横浜市立瀬ヶ崎小学校、横浜市立東汲沢小学校、川崎市立川崎高等学校、横浜市立潮田小学校、横浜市立桜岡小学校、横浜県立翠嵐高等学校、横浜市立戸塚高等学校、都立大島海洋高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、共立女子大学、館林ユネスコ協会、横浜隼人高等学校、文教大学付属高等学校、多摩大学グローバルスタディーズ学部、神奈川県立横浜緑が丘高等学校、新潟明訓高等学校、横浜市立山王台小学校、横浜市立下野谷小学校、長岡看護福祉専門学校、岐阜市立看護専門学校、川上北小学校、笠間市立笠間小学校、横浜市立横浜総合高等学校、関東学院六浦中学校、中津川市立坂本中学校

#### ③第3四半期：

横浜市立青葉台小学校、東洋英和女学院大学、広島県立吉田高等学校、神奈川大学、釜利谷高等学校、広島県立商業高等学校、神奈川県立寒川高等学校、神奈川県立翠嵐高等学校、茨城大学人文学部社会科学科、神奈川県立鶴見総合高等学校、神奈川県立神奈川総合高等学校、宇都宮市立富屋小学校、横浜市立東高等学校、ガールスカウト川崎連絡会、上尾市立西中学校、拓殖大学大学院、拓殖大学政治経済学部、神奈川県立川崎高等学校

#### ④第4四半期：

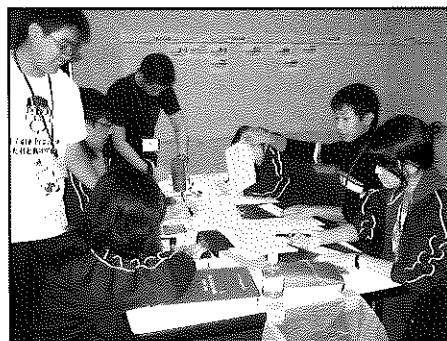
日本大学高等学校、東海大学国際学部、神奈川大学、江戸川区立小松川第二中学校、横浜市立東汲沢小学校、中野区立第四中学校、聖マリア小学校、捜真小学校、東京学芸大学、国士館中学、横浜国立大学経済学部、横浜市立本郷特別支援学校高等部、川崎市立川崎高等学校、上越教育大学、神奈川県立城郷高等学校、世田谷区立砧中学校、横浜市立金沢高等学校

【プログラム例① 大学生向け（3時間）】

- (1)教材体験（カルタ、紙芝居）
- (2)日本人の海外移住の歴史概要／日系アメリカ人の経験などについて解説／オリエンテーリングシートを活用した資料館見学

【プログラム例② 高校生向け（2時間）】

- (1)教材体験（カルタ、紙芝居、ハワイ労働着の試着）
- (2)パワーポイントによる海外移住の概要説明
- (3)オリエンテーリングシートを活用した資料館見学



移住学習の様子

3) 学校等への訪問

教育機関の団体見学誘致を促進することを目的とし、横浜市教育委員会の教材センター、小・中学校、(社)日本移動教室協会などへの訪問を実施。各種教材をはじめ、教育プログラムの広報を行った。

4) ボランティア管理運営

(1) ボランティア活動の概要

当資料館では、以下資料館業務をボランティアが実施している。

① 展示案内ボランティア

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。新規登録者については、応用研修等を実施後、正式に活動している。平成 21 年度末時点で、登録者数は 39 名。なお、展示解説ボランティアの配置状況は以下の通りとなっている。

- ・ 第 1 四半期：189 人配置（76 開館日、平均 2.5 人配置）
- ・ 第 2 四半期：192 人配置（79 開館日、平均 2.4 人配置）
- ・ 第 3 四半期：211 人配置（76 開館日、平均 2.8 人配置）
- ・ 第 4 四半期：243 人配置（74 開館日、平均 3.3 人配置）

② サポートボランティア

当資料館で実施する各種イベントにおいて、準備補助業務、受付補助業務、案内業務に携わっている。平成 21 年度末時点で、登録者数は 23 名。なお、活動実績は以下のとおりとなっている。

- ・ 5 月 24 日 特別展示付帯イベント「さようならの季節 上映会」：2 名
- ・ 8 月 27-30 日「FUNЕ」プロジェクトは応募を募るものの希望者がなし。
- ・ 11 月 28 日 公開講座「実業家と移住」：3 名
- ・ 12 月 12 日 公開講座「日系ブラジル人の俳句と短歌」：2 名
- ・ 12 月 20 日 公開講座「人と人との絆が築く国際関係」：4 名

### ③スタッフボランティア

当資料館の収蔵資料整理業務において各種作業に携わっている。平成 21 年度末時点で、登録者数は 27 名。なお、活動実績は以下のとおりとなっている。

- ・日米タイムズ広告鉛版印刷作業（スタンプブック作成）  
7 月から 9 月にかけて、15 名のボランティアが参加。全 14 コンテナ分すべての鉛版について、スタンプブック作成を終了した。10 月 23 日にスタッフボランティア会議を実施し、上記鉛版の今後の有効活用について意見交換を行った。
- ・インタビュー録画テープ起こし作業（英語）  
募集をかけたところ、6 名からの応募があり、作業説明会を実施後、活動した。本作業は平成 22 年度以降も継続して実施する予定。

### (2) ボランティア研修会等の実施

当資料館では、ボランティアのスキルアップを目的とした研修及び連絡会議等を実施している。

#### ①全ボランティアを対象とした研修

当資料館の全ボランティアならびに業務室職員を対象に、JICA で移住事業に携わった経験を有するボランティアによる連続講習会・移住関連ビデオ上映会を下記の通り実施した。

- ・8/31（月）講師：鎬木功氏、長瀬威氏（ボランティア 6 名、職員 3 名受講）
- ・9/14（月）講師：伊藤宏氏（ボランティア 11 名、職員 3 名受講）
- ・9/28（月）講師：堀口進一氏、榮田剛氏（ボランティア 10 名、職員 2 名受講）
- ・10/5（月）講師：諸橋茂喜氏、鎬木功氏（ボランティア 8 名、職員 2 名受講）

#### ②展示案内ボランティアを対象とした研修

##### ・基礎研修

日 時：【第 1 回】5 月 25 日、26 日 【第 2 回】8 月 24 日、25 日

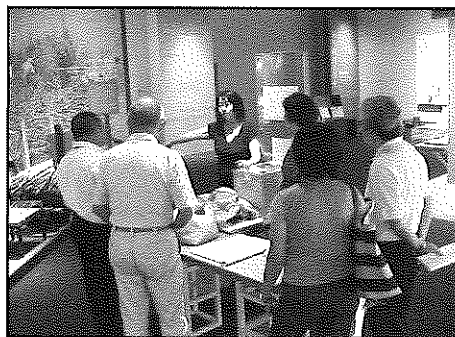
場 所：JICA 横浜会議室 1、常設展示室

講 師：黒岩啓子氏（Learning Innovation Network 代表）

概 要：ボランティアとしての活動の心構え、定点解説キットの効果的な利用を目指したワークショップ、展示案内デモンストレーションなど、資料館における展示案内ボランティア活動に関する内容。



研修会の様子



定点解説キット ワークショップ

- ・ 応用研修（OJT シャドウイング）  
平成 21 年度 6 月から 3 月末にかけて、11 名の新規展示案内ボランティアがのべ 194 回の応用研修（OJT シャドウイング）を実施した。
- ・ 展示説明会の実施  
10 月 14 日から開催した企画展示「海を渡った花嫁物語」、そして 3 月 9 日からの特別展示「移民の暮らし」に先立ち、展示案内ボランティアへの展示説明会を実施した。

### ③ボランティア連絡会議

当資料館業務にボランティアとして協力される方の意見を反映し、活動を円滑に進めていくために、下記のとおり連絡会議を実施。それぞれ 22 名、17 名のボランティアに参加いただき、今後の活動について意見交換を行った。

- ・ 第一回連絡会議

日 時：12 月 18 日

場 所：JICA 横浜 会議室 1

参加者：22 名

概 要：カテゴリー別ボランティア登録状況および活動状況、今後の予定、ボランティアヒアリング結果について等

- ・ 第二回連絡会議

日 時：3 月 1 日

場 所：JICA 横浜 会議室 1

参加者：17 名

概 要：特別展示「移民の暮らし」展の解説、活動状況報告、勉強会実施予定調整等

### 5) 博物館実習生の受入

日本大学通信教育部より依頼のあった博物館実習生を 2 名受入れ、9 月 3 日（木）から 9 月 9 日（水）までの平日 5 日間実習を行った。実習の内容は以下の通り。

9 月 3 日（木）：オリエンテーション、資料館見学、バックヤード見学

9 月 4 日（金）：座学（教育プログラム、ボランティア活動）、作業実習（資料整理）

9 月 7 日（月）：オリエンテーション（情報システム）、座学（情報展示システム、情報検索システム）

9 月 8 日（火）：座学（資料データベース）、座学（展示製作）、作業実習（展示製作）

9 月 9 日（水）：座学（コンテンツ製作）、作業実習（コンテンツ制作）、総括

## 5. 広報活動

### 1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当資料館広報紙として「海外移住資料館だより」を年4回発行。巻頭インタビューでは有名・無名を問わず、海外移住に関わりの深い人や活躍している日系人を取りあげ、資料探検隊のコーナーでは毎回テーマを設定し、当資料館の展示及び収蔵資料を紹介するだけでなく、テーマに関連する話題を紹介。発行部数 10,000 部。主な頒布先は、都道府県国際交流課および国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜および川崎市内小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約 2,500 件。その他、常設展示スペース等で随時配布。

No.	発行	巻頭インタビュー	資料館探検隊
16	2009年 6月	北條楽只	ハワイと日系人 —マカダミアナッツ・チョコの産みの親は？、他
17	2009年 9月	ラファエル	海を渡った花嫁物語 —花嫁として異国に嫁いだ女性たち、他
18	2009年 12月	皇后陛下が海外移住資料館 をご訪問（巻頭特集）	日系社会と皇室 —1967年5月・ブラジルご訪問、他
19	2010年 3月	響 彬斗	特別展示「移民の暮らし」 海外日系社会における「食す」「伝える」「楽しむ」「祝う」



No. 16



No. 17





No. 18



No. 19

## 2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下の通り実施した。

### (1) 横浜開港 150 周年 (Y150) 開国博関連

横浜開港 150 周年「横浜おもてなしプロジェクト」開幕直前案内業務研修会へ参加。また、Y150 実行委員会より、雨天時に JICA 横浜施設を昼食場所に使用する学校のリストを入手し、各学校へ資料館広報を実施。

### (2) 外部機関との連携

東京都写真美術館 (広報素材設置) / 川崎市市民ミュージアム (広報素材設置) / 横浜コンベンションビューロー (ホームページ「横浜情報」への情報掲載その他の情報提供) / 東急電鉄 (「海を渡った花嫁物語」関係ポスター・チラシの掲出) / HIS 教育旅行 (ハワイ向け修学旅行事前学習関連) / 神奈川県生涯学習情報センター (広報素材設置)

### (3) 外部媒体への掲載

雑誌『横浜』 / 神奈川県博物館協会事務局へ県博協通信「NET WORK 第 30 号」 / 日本テレビ「皇室アルバム」 / 『Hiragana Times 11 月号』 / 『旅なび東京・横浜』 (修学旅行フリータイムガイドブック) / 交通新聞社『横浜グランドミュージアム・ミュージアムガイドブック 2009』 / みなとみらい地区情報誌『ミレア』 / 学校向け教育施設紹介サイト「毎日学くん」 / (株)教材研究所『東京散策乗り物ガイド』 / 『雑誌新聞総かたるぐ』2010 年度版へ「海外移住資料館だより」情報掲載 / 横浜市『暮らしのガイド』 / 神奈川県観光協会 WEB サイト「観光かながわ NOW」 / 日本カメラ MOOK『写真年鑑 2010』『全国ギャラリー案内』 / 野毛印刷情報サイト「ハマコミ」 / 横浜港振興協会広

報誌「はまかぜ」／社団法人移動教室協会『移動教室年鑑 体験学習』／株式会社ぎょうせい『横浜版学習指導要領 指導資料』

#### (4) その他

資料館ホームページの利用案内／各種リーフレットの部分に、計 7 種のリーフレット／教科書等への資料提供等：明治図書出版株式会社『公民資料集』

### 3) 開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館常設展示および企画展示、特別展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った（NHK 横浜局、テレビ神奈川、ニッポン放送、毎日新聞、神奈川新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、朝日新聞マリオン編集部、各種イベント広報 web サイト等）。また近隣商業施設と連携し、当資料館での特別展示告知依頼を実施した。

### 4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は海外移住資料館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信、モニタリング等となっている。

会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、平成 21 年度末時点で、友の会会員は 329 名（DM 会員：96 名、メール会員：233 名）となっている。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、イベント開催等に併せて随時号外を配信している。

## 6. 運営委員会及び学術委員会

### 1) 運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置。平成 21 年度は開催実績なし。

#### 【平成 21 年度 運営委員】

運営委員長	高井正夫／吉浦伸二	JICA 横浜所長
学術委員長	飯野正子	津田塾大学学長
委員	糸井輝子	白百合女子大学教授
	杉下恒夫	茨城大学教授
	中牧弘允	国立民族学博物館教授
	山本 匡	東京工業大学大学院特別研究員
	蔵本文吉	JICA 中南米部部長
	佐渡島志郎	JICA 総務部部長
	吉田 丘	JICA 国内事業部部長

### 2) 学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、平成 18 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）、JICA 横浜研修業務第二課課長（資料館運営担当部署）により構成される。

#### 【平成 21 年度 学術委員会開催】

- 第 1 回学術委員会（5 月 1 日）
- 第 2 回学術委員会（7 月 30 日）
- 第 3 回学術委員会（10 月 19 日）
- 第 4 回学術委員会（3 月 5 日）

#### 【平成 21 年度 学術委員】

学術委員長	飯野正子	津田塾大学学長、海外移住資料館運営委員
委員	石川友紀	琉球大学名誉教授
	糸井輝子	白百合女子大学教授、海外移住資料館運営委員
	島田法子	日本女子大学教授
	中牧弘允	国立民族学博物館教授、海外移住資料館運営委員
	森茂岳雄	中央大学教授
	柳田利夫	慶応義塾大学教授
	山本 匡	東京工業大学大学院特別研究員、海外移住資料館運営委員
	高井正夫／ 吉浦伸二	JICA 横浜所長（海外移住資料館長）
	佐藤洋史／ 米林徳人	JICA 横浜研修業務第二課課長

### 3) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の3プロジェクトが、平成21年度より3年間実施されることとなった。新たな学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

#### (1) 海外移住資料館所蔵文献資料の拡充と学術的活用の探求

##### 【概要】

海外移住資料館収蔵資料を学術的研究に資するための資料の整理・利用方法を探求し、その結果を助言・提案する。同時に内外にある移民資料の情報を収集・整理し、海外移住資料館の持つ情報の質の向上を図る。海外移住資料館の文献資料活用に関しては、事例的テーマとして「短詩型文学」にかかる文献資料を選択し、整理・利用方法を探求し、結果を助言・提案する。

##### 【プロジェクトリーダー】

桑井輝子（白百合女子大学 教授）

#### (2) ブラジル日系人日本語学習のための移民カルタ教材の開発と実践

##### 【概要】

ブラジルの日本語学校及び移民系博物館と連携し、ブラジルの日本語学習者のための移民カルタ教材を開発し、教育現場においてそれを活用した実践を行い、その意義と可能性を検証する。

##### 【プロジェクトリーダー】

森茂岳雄（中央大学 教授）

#### (3) 経済不況下における在日日系ブラジル人の実態および社会統合への課題

##### 【概要】

日系ブラジル人の研究は、「定住」をキーワードに今後のあり方が研究され、第一世代は今の働き方、第二世代は教育問題、定住化現象での社会への参画・社会統合が重要な問題と認識されていたが、今日の急激な経済不況により、職住を失った日系ブラジル人が大量に発生し、このような前提を一気に崩してしまった。このような社会変革のなかでの日系ブラジル人の実態を把握し、今後の展望を検証する。また、現在の厳しい奈賀における定住の場合の社会統合への課題を再度検証する。

##### 【プロジェクトリーダー】

山本かほり（愛知県立大学 准教授）

### 4) 研究紀要の発行

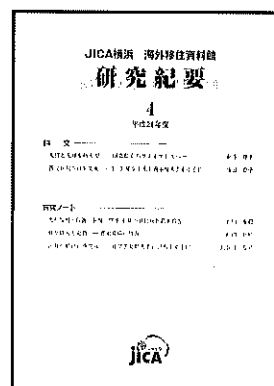
当資料館で行われた学術研究の成果として、研究紀要第4号を発行した（2010年3月発行）。論文題目等は以下のとおり。

#### 『研究紀要 第4号』

##### 【論文】

友情と友好を結んで ―敝之館からラヂオプレスへ―

白百合女子大学教授 桑井輝子



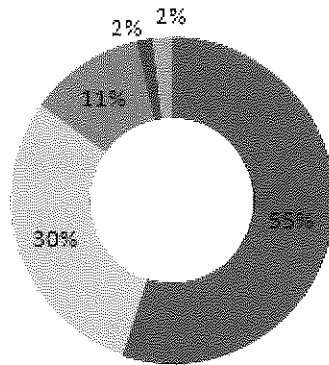


## 7. アンケート調査

当資料館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施した。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 544 件。5 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」の回答をあわせて 80%以上と、おおむね良好な回答を得た。

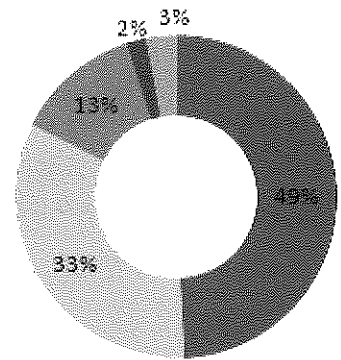
### 展示の内容

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



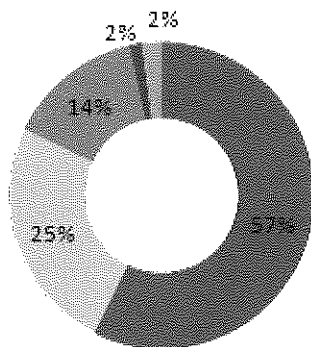
### 展示ガイドによる展示解説

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



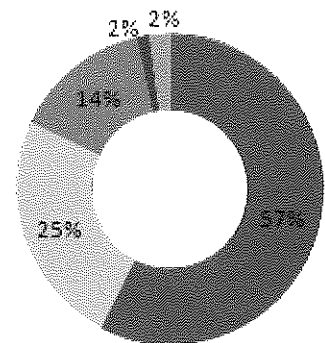
### 受付の対応

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



### 海外資料館だよりの記事内容について

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



## 8. 各種実績

平成21年度業務実績一覧

2009.4～2010.3

常設展示スペース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入館者数	3,683	5,744	3,378	3,930	3,906	5,591	3,092	2,583	1,878	1,481	1,848	1,942	39,056
(前年同比)	83%	90%	86%	197%	176%	135%	90%	66%	70%	87%	86%	92%	100%
一般	3086	3909	2492	3118	3571	4676	2425	2253	1592	1360	1452	1721	31,655
学校関係	597	1835	886	812	335	915	667	330	286	121	396	221	7,401
15歳未満	277	1433	645	799	511	733	269	172	228	107	392	245	5,811
15歳以上	3406	4311	2733	3131	3395	4858	2823	2411	1650	1374	1456	1697	33,245
個人	2893	3802	2261	2945	3320	4383	1888	1758	1387	1289	1191	1578	28,695
団体	790	1942	1117	985	586	1208	1204	825	491	192	657	364	10,361

※開館からの累計: 209,033

教育プログラム実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
実施件数	7	14	10	9	7	9	11	5	5	5	8	7	97
実施対象人数	566	521	500	538	176	827	573	98	213	113	377	182	4,684

照会対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
対応件数	87	89	73	83	59	54	63	46	46	36	44	45	725
JICA	6	6	6	5	7	4	7	9	4	3	7	9	73
教育機関	10	10	14	13	4	10	4	7	11	11	10	6	110
国内団体	20	12	7	5	9	10	13	4	5	7	6	4	102
個人	33	46	39	42	24	20	18	19	13	5	13	16	288
自治体	4	4	1	1	6	1	10	2	3	1	3	1	37
制作会社・マスコミ	14	9	6	17	9	7	11	4	9	8	4	8	106
国外団体	0	2	0	0	0	2	0	1	1	1	1	1	9

図書資料室(海外移住)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入室者数	227	200	275	267	220	185	176	166	163	180	159	287	2,505
(前年同比)	97%	87%	131%	145%	115%	92%	91%	114%	101%	77%	105%	144%	107%
一般	77	78	96	127	83	84	74	71	51	40	41	74	896
マスコミ等	1	9	18	21	8	18	10	5	11	21	14	10	146
JICA関係(業務)	99	73	90	94	96	66	77	81	85	104	95	110	1,070
JICA関係(研修)	50	40	71	25	33	17	15	9	16	15	9	93	393

資料受入件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
資料受入件数	9	514	257	185	199	154	171	147	80	72	85	51	1,924
(うち取得)	0	331	44	9	3	10	15	2	57	0	41	4	516
(うち購入)	0	9	0	0	17	0	0	6	0	0	0	0	32
(うち寄贈)	9	174	213	176	179	144	156	139	23	72	44	47	1,376
所蔵登録総件数	36,955	37,469	37,726	37,911	38,110	38,264	38,435	38,582	38,662	38,734	38,819	38,870	

移住申込書整理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
ファイル解体	186	298	471	415	328	253	170	128	79	57	49	80	2,514
データシート作成	186	277	471	415	328	253	170	128	79	57	49	80	2,493
挿入作業	186	277	471	415	328	253	170	128	79	57	49	80	2,493
データシート記入	40	461	412	327	427	139	343	190	90	41	12	28	2,510
スキャン(件数)	178	480	762	384	759	534	541	383	225	294	317	351	5,208
スキャン(画像ファイル数)	-	-	5,409	4,297	4,961	4,354	4,082	3,177	2,718	3,681	3,937	5,472	42,088

webページアクセス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	10,223	12,081	11,364	12,047	13,045	13,776	15,939	13,326	14,425	15,244	13,937	15,463	160,870
(前年同比)	118%	98%	84%	99%	84%	139%	149%	131%	135%	139%	144%	178%	122%
Pages(利用数)	26,074	25,872	20,613	24,267	26,848	29,414	30,739	26,060	26,014	26,368	24,503	29,651	316,423
Files(情報提供数)	83,520	88,720	81,072	89,588	91,311	90,599	98,231	95,713	92,760	88,938	85,228	90,623	1,076,303

情報検索アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	1,527	1,739	1,326	1,157	1,049	901	912	836	1,642	1,819	715	800	14,423
(前年同比)	-	-	156%	153%	133%	100%	93%	91%	194%	197%	79%	80%	163%
検索件数	1,514	1,471	1,320	1,063	1,003	1,398	1,223	1,008	1,049	1,249	847	1,605	14,750
(前年同比)	-	-	71%	83%	49%	65%	87%	86%	48%	83%	66%	97%	89%

※2009年6月にデータ移行したため、4月、5月は前年同比なし。

**JICA 横浜 海外移住資料館 館報**  
平成 21 年度

---

**発 行：国際協力機構横浜国際センター**  
**Japanese Overseas Migration Museum**  
**海外移住資料館**

**発行年月：2010 年 6 月**

**問い合わせ先**

**JICA 横浜 海外移住資料館**

**〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1**

**Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781**

**Web : <http://www.jomm.jp> E-mail : [info@jomm.jp](mailto:info@jomm.jp)**





